

3. 視察記録

視察記録 1

日時：2000.6.22（木） 14:00~15:00		場所：Preah Sihanouk 病院エイズ・感染症病棟
使用言語：クメール語	同席者：四方、AG、KS、CC（兼通訳）	
面会相手方：		
名前	役職	所属
Dr. Chinn Senya	病棟医長	国立 Preah sihanouk 病院
・ 現在エイズ患者によって多くを占められているこの感染症病棟は、日本政府の草の根無償と MSF の支援によって建設された定床数 60 の 2 階建ての建物である（写真参照）。満床になっても患者を拒否することはない。 ・ ここに入院してくるエイズ患者は、重症のため在宅ケアでは対応できない人々で、食事の介助、身体の清拭などは MSF が大いに貢献している。（なお入院前後の在宅ケアについては MSF だけでなく World Vision、KHANA も積極的にかかわっている。） ・ エイズの合併症として上位を占めるのは、サイトメガロウイルス感染症、クリプトコッカスによる真菌性髄膜炎、結核、慢性下痢症、カリニ肺炎などである。結核の診断がついた患者は同病院内の TB 病棟に移すこともある。 ・ クリプトコッカスには抗真菌剤、結核には抗結核薬、カリニ肺炎は外来通院中から ST 合剤の予防投薬等を与えるが、特異的治療はほとんど出来ていない。 ・ 実際に病棟を視察すると、カリニ肺炎患者に酸素吸入を併用している他は、特殊な治療は行われている様子がなく、痩せた患者が横たわっているだけに見える。 ・ 特効薬である抗レトロウイルス剤を自費購入できそうな患者には情報提供しており、これまで数人が実際に服用した。 ・ 国立病院であることから職員の給料が低く、この病棟に配属された医師 5 人が次々と辞めていった。		

視察記録 2

日時：2000.6.22 (木) 15:30~16:00		場所：PSI 事務所
使用言語：英語	同席者：四方、AG、KS、AC、CC	
面会相手方：		
名前	役職	所属
Mr. John M. Deidrick	代表	PSI

- ・ 米国ワシントンに本部を置く国際 NGO のカンボディア支部である。事務所の筋向かいにはコンドームとピルの包装工場を持っている。
- ・ 1994 年から本格的な活動を開始し、まず Number One と名付けたコンドームの販売に乗り出した。PSI の営業部は 6 直営店、問屋を介しての薬局・商店・売春宿・カラオケ店への卸、タイ国境やバットンバンで活動する NGO への供与という 3 種類の販路を開拓した。PSI は Education & Communication 部をも有しており、ラジオドラマ、テレビコマーシャル、ポスター、新聞・雑誌広告を利用したマスキャンペーンを実施している。また地元 NGO を雇って学校、軍、警察等を巡回させ、人形劇を通じた家族計画・性教育を継続的に行ってきた。これらの成果としてコンドーム売り上げは 95 年の 503 万個から 99 年の 1290 万個へと大きく伸び、2000 年はさらに上回る見込み。
- ・ 1997 年から OK と名付けた経口避妊薬の販売を開始。コンドームと異なり 85%までが薬店・薬局経由での販売となっている。98 年 15 万単位 (1 単位は 1 カ月分)、99 年からラジオ、テレビのコマーシャルを開始し、2000 年は 30 万単位以上の売り上げが見込まれている。
- ・ PSI カンボディアは主として 3 つのドナーからの支援を受けている。USAID は職員の給与を賄い、DFID はコンドームの仕入れと包装にかかる費用を負担し、UNFPA が経口避妊薬を供与している。
- ・ コンドーム使用は売春宿ではかなり普及したものの、使用を拒む男性客もいるため、女性用コンドームの市場開拓の余地がある。カンボディア以外のいくつかの途上国の PSI が UNAIDS と共に実施している女性用コンドーム推進運動の経験を活用できるとも考えている。
- ・ 事務所でのブリーフィングのあと、プノンペン市郊外の売春宿街を実際に訪問した (16:00-18:00)。MSF が活動拠点としているその地区の薬店では PSI 製のコンドームとピルが販売されていた (写真参照)。ある CSW からの直接の聞き取り調査では、HIV や STD から自分の身を守るため、女性用コンドームも是非使用したいとの発言が聞かれた。

配付資料：41, 42

視察記録 3

日時：2000.6.22（木）14:50~16:00		場所：国立医療技術学校
使用言語：英語		同席者：伊藤、CP
面会相手方：学長、WHO アドバイザー		
名前	役職	所属
Dr. Huy Sovath	Director	Technical School for Medical Care
Dr. Agnes E. Jacobs	MCH/Safe Motherhood Advisor	WHO
先方学長から以下のとおり説明		
・ 18 歳以上の教育を実施 ・ 本学校の他、全国に 4 つの Regional Nursing and Midwifery School が存在し、本学校は統括的役割を担っている。 ・ 保健省へは直接予算要求し、また指揮命令系統は大臣から直接学長へなされる方式。 ・ 外国援助は、WHO や ADB、NGO 等から受けている。		
WHO アドバイザーからの以下のとおり説明		
・ Safe Motherhood の推進を図っているが、あと 10 年はかかるのではないかと。本学校では地域指向の助産婦の育成に努めている。 ・ 現在の助産婦関係では在宅ケアが課題。各ヘルスセンターに助産婦が必ずしも充足していない状況で、質・量両面での充実が急務。		
その後の質疑応答に応じての要旨は以下のとおり。		
・ 優先順位は看護婦、助産婦育成。その他不足しているのは機材、予算、教材など。 ・ 入学数は保健省人材局が決定するが、今年は看護婦 60 人、検査技師 20 人。 ・ 入学科は約 7 ドル。免除制度や奨学金もある。 ・ 臨床検査技師の養成課程が 2 年に短縮されたのは、需要を満たすためのやむを得ない措置。 ・ 臨床検査関連では、かつて国境なき医師団からの支援を受けていたこともあった。		

視察記録 4

日時：2000.6.22（木） 16:30~17:20		場所：National Blood Transfusion Center
使用言語：英語	同席者：伊藤、CP	
面会相手方：		
名前	役職	所属
Dr. Nhem Thourk	Director	National Blood Transfusion Center
Dr. Oscar Barreneche	Medical Officer	WHO
先方から以下のとおり説明。WHO アドバイザーも同席。		
・ 本センターは 91 年設立。 ・ 92 年から 97 年までは国際赤十字社から 100% の支援を受けていた。 ・ 98 年から 99 年までは日本ボランティアセンターの支援を受けていた。 ・ 保健省からは安全な血液確保に懸念が示されており、献血の推進が最優先事項として掲げられている。背景には、B 型肝炎・ C 型肝炎・ 梅毒・ マラリア等の感染率が高いことがあげられる。 ・ 運営資金等は政府予算の他、世銀からの融資を充てている。 ・ 現時点で同センターの抱える問題は以下の 3 点。 1. 献血者の不足 2. 組織・制度強化 3. 技術援助（人材育成） ・ 実際の検体をみる限り、20% もの血液がなんらかに感染している。		
当方からの質問に答えての回答の概略は以下のとおり。		
・ NCHADS との関係は、エイズプログラムの中に Blood Safety を扱う部署があるので、そことの連携を図っている。 ・ 試薬関連は CMS 経由で配布される。右資金は 2002 年までは世銀の融資が充てられる計画。 ・ 検査はセロディアの ELISA により行っているが、保健省からの支給分では不足している。不足額は年間で 40 万ドル。トレーニングも必要。 ・ NGO との関係では、MSF が Medical Project と Blood Bank を統合して協力を実施していた。		

4. 収集資料リスト

収集資料リスト

番号	資料の名称	形態	発行機関
1	USAID/Cambodia's Activity in Health and Humanitarian Assistance	小冊子	USAID/Cambodia
2	JICA's activities in Cambodia	プリント	JICA Cambodia Office
3	JICA in Cambodia	小冊子	JICA Cambodia Office
4	HIV/AIDS in Cambodia	プリント	FHI
5	Epidemiological Fact Sheet on HIV/AIDS and STD: Cambodia	コピー	UNAIDS/WHO
6	TB in Cambodia	プリント	FHI
7	The Female Condom: What is it?	コピー	UNAIDS/WHO
8	Khmer HIV/AIDS NGO Alliance (Khana) Briefing Paper	プリント	Khana
9	Population Services International (PSI)	プリント	PSI
10	FHI/IMPACT Cambodia	プリント	FHI
11	Performance Monitoring Plan: SpO2 Reduced transmission of STD/HIV among high-risk populations	レポート	USAID/Cambodia, 2000
12	Cambodia: Demographic and Health Profile, Millennium Edition	レポート	USAID/Cambodia, 2000
13	Health Situation Analysis 1998 and Future Direction for Health Development 1999-2003	レポート	MOH, 1999
14	Needs for the Management of complications of Unsafe Abortions in Cambodia	要請書 コピー	UN Theme Group on HIV/AIDS, Cambodia
15	Prevention and Care of HIV/AIDS at Port Construction Site in Sihanoukville	要請書 コピー	UN Theme Group on HIV/AIDS, Cambodia
16	General Population Census of Cambodia 1998: Final Census Results	オリジナル	National Institute of Statistics, 1999
17	Country Population Assessment: Cambodia	コピー	UNFPA
18	Planning Manual: Planning Process for Provinces & Operational Districts	オリジナル	MOH, 1999
19	1997-99 Project Information Bulletin, Project Coordination Unit	オリジナル	MOH, 2000
20	National Level Indicators for Monitoring & Evaluating Health Sector Performance	オリジナル	MOH, 1999
21	Guidelines for Developing Operational Districts	オリジナル	MOH, 1997
22	Guide for the Strengthening of the District Health System in Cambodia	オリジナル	MOH
23	CENAT/JICA National TB Control Project	プリント	小野崎リーダー
24	DOTS in Health Centers	プリント	小野崎リーダー
25	Kingdom of Cambodia Tuberculosis Report 98: TB Control Concern for All	オリジナル	NTP
26	Feasibility Study for the Distribution and Marketing of Female Condoms for HIV/AIDS Prevention in Cambodia	プリント	PSI

27	Linking Community-Based HIV/AIDS Prevention and Care with TB in Cambodia	プリント	Khana
28	Children Affected by HIV/AIDS	プリント	Khana
29	An Evaluation of the MoH/NGO Home Care Programme for People with HIV/AIDS in Cambodia (Draft)	プリント	Khana
30	Concept Note: Linking HIV/AIDS Prevention and Care with Maternal and Child Health in Cambodia	プリント	JICA MCH Project
31	Cambodia Assessment: Cambodia's Malaria Burden	プリント	National Malaria Control Program
32	Partner Networks for Malaria Control in Cambodia	プリント	National Malaria Control Program
33	Briefing Note on WHO-Cambodia	プリント	WHO Cambodia
34	Building More Effective Partnerships for Development in Cambodia: Remarks by Minister of Economy and Finance at the 3rd Quarterly Government-Donors Consultation and the 2000 Pre-consultative Group Meeting	コピー	Council for the Development of Cambodia
35	Overview of Health Sector and Summary of Health Achievements in 1999	講演資料 コピー	Dr. Mam Bun Heng
36	Background Information: taken from CAMBODIA CCS draft	コピー	WHO Internal Document
37	Briefing note on AIDS in Cambodia	コピー	WHO Cambodia, 2000
38	Report of the Working Group on the Social Sector to the Consultative Group Meeting, Paris, May 24-26, 2000	コピー	UN Working group
39	Overall Social Sector	コピー	UN Working group
40	Roll Back Malaria (RBM): Project for Mekong Countries, Implementation Strategy for Cambodia	コピー	出所不詳(WHO?)
41	Quarterly Sales Trend for Number 1	プリント	PSI
42	Sales by Month for OK	プリント	PSI